

# 老年看護学臨地実習Ⅱ

必修

開講年次：3年次後期

科目区分：実習

単位：2単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：老年期にある対象を、人生の最終段階まで地域で暮らすことを支えるために加齢や疾病とそれに影響される生活障害をも含め、統合的にアセスメントができる。その上で対象の自立・自律を尊重したQOLの向上への支援ができる基礎的能力を養う。

- 到達目標**：
1. 老年期にある対象を身体的、精神的、社会的、発達の側面から統合的に説明ができる。
  2. 老年期にある対象の健康課題をアセスメントし、看護上の課題（強み）を抽出し、ウェルネス思考で看護計画が立案できる。
  3. 老年期にある対象の状態にあった援助方法を実施し、評価することができる。
  4. 老年期にある対象と援助的人間関係を形成することができる。
  5. 老年期にある対象の人権を擁護し、人生と人格を尊重した態度を表出できる。
  6. 保健・医療・福祉チームの一員としての看護職の役割を説明でき、学生としての立場で役割を果たすことができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎村松 真澄・原井 美佳・中田 亜由美

■**授業計画・内容**：

実習施設：医療法人溪仁会 札幌西円山病院  
社会福祉法人愛全会 サン・グレイス

詳しくは実習要項を参照のこと

■**教科書**：使用しない

■**参考文献**：適宜紹介する

■**成績評価基準と方法**：出席日数、実習内容、実習記録などから実習目標の達成度を総合的に評価する  
実習内容及び倫理・学修姿勢（80%）、レポート（20%）、で評価する。

評価方法	評価目標	評価基準	評価割合 (%)
	到達目標1～10		
実習	◎	到達目標達成度 主体的な姿勢	80
レポート	◎	内容の適切性	20
出席		2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：これまでの学習を統合する重要な実習です。寒い季節で感染症も流行する時期なので体調管理を実施してください。学生であることを理解して臨床指導者と報告・連絡・相談を密にしてください。対象や場に応じた挨拶や言葉遣い、実習にふさわしい身だしなみ、自己の健康管理にも注意して実習に取り組んでください。対象者も学生自身にも事故がないように気をつけてください。